



一般社団法人 電波産業会  
 Association of Radio  
 Industries and Businesses

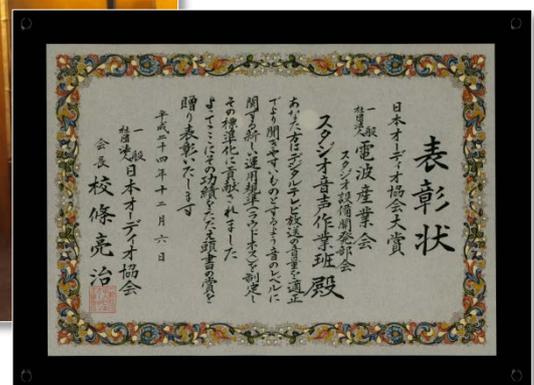
No.863 2012年12月17日

ARIBの動き

「ラウドネス運用規定の策定と周知促進活動」が  
 日本オーディオ協会の協会大賞を受賞

当会のスタジオ設備開発部会スタジオ音声作業班は、国際的に採用が進んでいるラウドネス運用規定の国内導入を図るべく、ARIB TR-B32「デジタルテレビ放送番組におけるラウドネス運用規定技術資料」を策定し、関係する団体各位との連携で、周知促進活動を展開してまいりました。

この度、この活動に対し、一般社団法人日本オーディオ協会殿よりご評価いただき、去る平成24年12月6日<sup>※</sup>に行われた日本オーディオ協会創立60周年記念式典において、協会大賞として表彰いただきました。日本オーディオ協会では5年ごとに「日本オーディオ協会賞」としてオーディオ・ビジュアル関連の技術開発と実用化、標準化、オーディオ文化振興の業績により、産業の発展と生活文化の向上に貢献した方々を表彰しています。この度の協会大賞は、同協会の創立60周年記念行事として特別に設定されたもので、大変名誉あるものです。



日本オーディオ協会 創立60周年記念式典での授賞式と表彰状

なお、この度の受賞は、関係各位のご尽力の賜物であり、当会は代表して受賞させていただいたものです。これまでのご尽力に対し、厚く御礼申し上げます。

注) 12月6日はトーマス・エジソンが1877年に蓄音機「フォノグラフ」を発明した日であり、音楽、オーディオ、レコードなど「音」の文化について多くの人々に認識を深めてもらうために、日本オーディオ協会等が1994年に12月6日を「音の日」と定め、毎年この日に記念行事を行っています。

## 第190回業務委員会を開催

第190回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成24年12月12日(水) 午後4時00分から5時25分まで
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要
  - (1) 電波産業年鑑2012の発行について
  - (2) 第29回XGPフォーラム定期年次総会の結果について
  - (3) ISDB-T国際普及活動の最近の状況について
  - (4) ITU-R SG5 関連会合及びJTG4-5-6-7 会合の主要結果について
  - (5) APT 研修「次世代移動通信システム実現に向けた取り組み」の実施について
  - (6) その他
  - (7) 近況報告(業務委員)

### 総務省からのお知らせ

#### 次世代高速無線 LAN の導入のための技術的条件

##### —情報通信審議会からの一部答申—

【平成24年11月28日の総務省報道資料から】

総務省は、情報通信審議会（会長代理：坂内 正夫 国立情報学研究所 所長）から、平成14年9月30日付け情報通信技術分科会諮問第2009号「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち「次世代高速無線 LAN の導入のための技術的条件」について一部答申を受けました。

#### 1 背景

近年の無線 LAN の普及はめざましく、生活をより快適にしている一方で、無線 LAN に対する期待は、「伝送速度にかかわらず、つながれば便利」から「高速でつながる」や「家中どこでもつながる」に変化しています。また、無線 LAN の国際的な標準化活動においても、より高速な IEEE802.11ac 規格（802.11n 規格の 5GHz 帯での更なる高速化）の制定に向けた検討が進められています。

このような動向等を踏まえ、1Gbps の伝送速度を目標とする 5GHz 帯における次世代高速無線 LAN（802.11ac 準拠）の導入に向け、情報通信審議会情報通信技術分科会移動通信システム委員

会（主査：安藤 真 東京工業大学大学院 教授）において、次世代高速無線 LAN の導入のための技術的条件について審議が進められてきたところ、本日、その審議の結果として答申を受けました。

## 2 答申の概要

本答申の概要は、[別紙](#)  のとおりです。

## 3 今後の予定

総務省では、本答申を踏まえ、次世代高速無線 LAN について、関係規定の整備を速やかに行う予定です。

## 4 関係報道資料

- ・ [情報通信審議会情報通信技術分科会での審議開始及び技術的条件の提案募集（平成 24 年 4 月 25 日）](#)
- ・ [移動通信システム委員会報告（案）に対する意見の募集（平成 24 年 10 月 9 日）](#)

## 連絡先

総合通信基盤局 電波部 基幹通信課 担当：白石課長補佐、下地係長

電話：(直通) 03-5253-5886 （代表）03-5253-5111 内線 5886 FAX：03-5253-5889

E-mail：fix-micro\_atmark\_ml.soumu.go.jp

※ スпамメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

### 広帯域移動無線アクセスシステムに係る臨時の電波の利用状況調査に関する 告示案に対する意見募集

[【平成 24 年 12 月 7 日の総務省報道資料から】](#)

総務省は、広帯域移動無線アクセスシステムに係る臨時の電波の利用状況調査を実施するための告示案を作成しましたので同告示案について、平成 24 年 12 月 8 日（土）から平成 25 年 1 月 7 日(月)までの間、意見募集を行います。

## 1 背景・概要

総務省は、周波数再編アクションプラン（平成 24 年 10 月改定版）において、広帯域移動無線アクセスシステム（BWA）の利用に関し 2.5GHz 帯での周波数帯の拡大（2625～2655MHz）を図ることとしており、同周波数帯の割当ての検討等に資するため、広帯域移動無線アクセスシステムに係る臨時の電波の利用状況調査を実施することとし、今般、当該調査の対象となる割当可能周波数帯、地域その他の必要な事項を定める告示案を作成しましたので、当該告示案に対して意見募集を実施します。

## 2 意見公募要領等

### (1) 意見公募対象

広帯域移動無線アクセスシステムに係る臨時の利用状況調査の対象となる割当可能周波数帯、地域その他の必要な事項を定める告示案（[別添 1](#)  参照）

### (2) 意見提出期限

平成 25 年 1 月 7 日(月)午前 10 時（郵送の場合は、同日必着）  
なお、詳細については、意見公募要領（[別添 2](#) ）を御覧ください。

### 3 今後の予定

寄せられた意見を踏まえ、速やかに、制定する予定です。

#### 連絡先

総合通信基盤局電波部移動通信課 担当：柳迫課長補佐、梅城係長

電話：03-5253-5893 FAX：03-5253-5946 電子メール：2.5ghz×ml.soumu.go.jp

※ 迷惑メール対策のため、メールアドレスの一部を変えています。「×」を「@」に置き換えてください。

## お知らせ

本年 4 月より始めました「会員だより」はおかげさまでご好評をいただいております。

会員相互のさらなる情報交流を進めるべく、記事の寄稿をお願いいたします。

下記の要領で、「会員だより」に掲載する記事をご提供いただければと存じますので、ご協力のほど、よろしくをお願いいたします。

#### 記

##### 1 寄稿をお願いする情報の事例

- (1) 会社のユニークな取組みや特徴をアピールしたいとき
- (2) 活動したいテーマがあり、その活動への参加を広く会員に求めたいとき
- (3) アンケートやイベントへの参加などを広く会員に求めたいとき
- (4) 新規のサービス（製品）の発表を広く会員に情報提供したいとき
- (5) その他、ARIB ニュースを通して、ビジネスパートナーとのマッチングの機会を求めたいとき

##### 2 寄稿の要領

図表やイラストなどを含めて 1 ページ（A4 版）以内にまとめて頂き、「会員だより」に掲載する記事の寄稿であることを明記の上、掲載予定日の 1 週間前までに、事務局まで送付頂くようお願いいたします。

連絡先：一般社団法人電波産業会 企画国際部  
E-mail: arib\_news@arib.or.jp

刊行されたばかりの「ビッグデータがビジネスを変える」を読みました。本書では、最近新聞、雑誌等で良く見聞きする「ビッグデータ」をネット・ビジネスやITビジネス関係者の話としてではなく、マーケティング、ものづくり、サービスの分野、そして公共ビジネス、健康ビジネス、教育ビジネスなどあらゆるビジネスに変革をもたらす話として解説しています。

アマゾン、クックパッド、コマツ、タクシー業界、NTTドコモ、温泉街、翻訳サービス、コンテンツ配信サービス、テレビ番組・映画配信サービスなどの事例を通して、どのような分野でビッグデータが実際に使われているのか、またこれを活用してどのようにビジネスを発展させられるのかわかりやすく紹介しています。

本年9月まで総務省大臣官房審議官を務め、現在、東京大学先端科学技術センター特任教授の著者は、最後に「日本復活に向けて、皆でビッグデータの活用を進めていこうではありませんか。」と締めくくっています。新書サイズで読みやすく、是非ご一読をお勧めします。

- 第1章 ビッグデータが変えるマーケティング
- 第2章 ビッグデータが変えるものづくり
- 第3章 位置情報が生み出すビジネス・イノベーション
- 第4章 ビッグデータが創るサービス
- 第5章 コンテンツ・ビジネスの進化とビッグデータ
- 第6章 ビッグデータにより進展する情報革命
- 第7章 ビッグデータで解決する社会問題
- 第8章 ビッグデータの活用法
- 第9章 ビッグデータを制する者が世界を制する

アスキー新書 229 「ビッグデータがビジネスを変える」

著者 稲田修一

発行 アスキー・メディアワークス

ISBN978-4-04-886881-5 定価 780 円

(YT)



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)